



令和6年（2024年）7月23日
第89号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47
TEL 0798(33)7713
FAX 0798(33)7743



親の目で寄り添う育成会を目指して

一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会
会長 梅谷 正子



この度、61年目を迎えた西宮市手をつなぐ育成会の会長という、非常に重い役割をお引き受けすることになりました。2020年より4年にわたり会長職を努められた本田洋子前会長のあとを受け継ぐにあたり、身の引き締まる思いです。脈々と受け継がれてきたこのバトンをどのように繋げていくのか、とても責任重大です。

わたしたち障害のある子を持つ親にとって一番の心配事は「親亡き後」のこと。設立当時、知的障害の子を思う家族の様々な活動が身となり、現在の障害福祉制度に繋がっています。しかし、現在もなお「親亡き後」の課題はまだまだ解決されておりません。社会問題である高齢社会、現在会員の皆様も直面しています。そして、「親亡き後」は、社会の問題といっても過言ではありません。「親亡き後」は、子の生活支援、金銭工面、治療や介護などの支援は誰にお願いするのか、介護保険への移行はどうなるのか、現在利用しているグループホームでずっと暮らして行けるのかなどの具体的な支援の受け方やどう表現すればよいのか分からないモヤモヤした悩みを抱えています。

今年の育成会の活動計画は、子を思う親同士の繋がりを活かし、障害のある本人のために利用事業所等廻りをさせていただきたいと考えております。この活動は、親の目でさりげなく寄り添える育成会活動の大きな柱にしたいと考えております。

また、月に1回の法律労務に関する福島弁護士の相談会、弁護士への相談だけでは解決できないお困りごとに対して福島弁護士がいろんな専門職と作られた「一般社団法人 SIN」に所属されている専門家の方々の助言を受けることが可能となりました。より踏み込んだ形でのサポートが受けられると思います。

啓発活動は、育成会の活動を広く知っていただくために、「手につなぐ」の発行、「ストリートギャラリー」、「市民祭り」への参加、啓発隊「輪・和・WA」、西宮市あいサポート運動への協力は出来る限り、出来る範囲で参加できるよう頑張ります。

余暇活動は、「サロン活動」「親子バスツアー」「クリスマス会」をする予定です。特に、障害のあるご本人たちが中心となる余暇を重視し、例えば、創作活動、スポーツ、ダンス、スポーツ観戦など「本人がやりたいことを形にする自由な活動」を応援したいと考えています。

西宮市手をつなぐ育成会を今まで繋ぎ、活動をされ、築いてこられたものを大切に守り、時代の変化に敏感になり、新しい視点で活動を行って参ります。会員の皆様におかれましては、様々なご協力をお願いすると思っておりますが、決してご無理のないようにご参加お願いしたいと思います。障害を持つ本人、その家族、全ての支援者の皆さんが心身ともに健康で充実した生活を送れるための役割を担えるように目指したいと思います。

副会長 山口ひとみ

2022年度に初めて理事に就任し、今年度は副会長を務めることになり、経験の浅い私は不安で一杯の幕開けとなりました。

現在すずかけ作業所でお世話になっている、今年29歳になる息子が、芦屋特別支援学校の高等部の時に、育成会に入会させていただきました。それまでは、育成会には特に関心もなく入会すれば役員という責務に翻弄されるという恐れも抱いていました。確かに、2年前の余暇支援事業部の担当理事の時にはコロナ禍も落ち着きつつある頃でしたので、慣れないこともあり、予想以上にたくさんの事業に奔走しました。やはり大変だったなあと思いつつも、不思議にも楽しい思い出の方が多かったと感じています。

たくさんの方々との出会い、活動が、衰えつつある頭の刺激にもなり、活力も湧き、私の人生にとっても、大変プラスに作用したようです。

親子共々、これまでも、またこれからも周りの方々に出会い支えられていく事に感謝しながら、微力ながらも育成会でいただいた役割を果たして行こうと思っています。

未熟者ではありますが、皆様の温かいご教授をいただきながら前向きに進んでいく所存です。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。



副会長 山口 朱美

「総会后、三役として行政や関係機関への挨拶まわりにいきますよ」と告げられ、いただいた役割の大きさを実感しているところです。

今年24歳の息子が卒業後、一羊会の自立訓練でお世話になったのが、育成会との関わりでの始まりでした。以来、事務局員・理事として、コロナ禍の中でも行政に保護者の思いを伝え、会員みなさまに楽しい交流の場を、役に立つ情報提供を、地域には育成会活動の発信を、と奔走する理事みなさんの後ろ姿を見てまいりました。事務所に保管されている書類ひとつひとつに60年という長い歴史の育成会活動を担ってこられた先輩方の思いが込められているように感じます。制度や会員みなさまのご事情が変化していく中で、「やっぱり育成会会員でよかった」と思っていただけのような活動を探していきたいと思っています。会員歴も浅く、経験も少ない私が、副会長という大役を務めていけますよう、どうぞお力添えいただきたく、お願い申し上げます。



副会長 宮脇 葉子

4年ぶりに理事に出戻って参りました(笑)
この4年間はコロナ禍で、育成会としても以前のような大きな行事を開催することができず、会員の皆様ともお目にかかる機会が少なくなっていました。そして今、少しずつ元の育成会活動に戻りつつあります。

コロナ禍ではマイナス面も多くなりましたが、遠方で諦めていた研修会もオンラインで参加可能になりました。今後はコロナ禍で得たものも上手に使っていけたらと思います。

前回、理事をお引き受けした時から知的障害者相談員としても活動していますが、小学生の子どもさんを持つお母さん方から、高等部を卒業してからの進路のこと、果ては親亡きあとのことまで不安に思われている方が少なくありません。

障害者にとって生きづらい世の中だと思われていることがとても残念です。

育成会としては、地域の方々に、少しでも知的障害についての理解を広げるために啓発活動をしていかなければならないと思います。微力ですが、私もその一端を担えればと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します



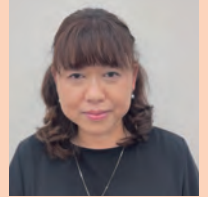
事務局長 高士 文緒

ほんの少しのお手伝いのつもりで入った育成会事務局、気が付けば近藤元会長、本田前会長、そして今年度からは梅谷会長と長きにわたり3人の会長の下で育成会活動を事務局として支えていくことになりました。これまで大変なこともありましたが、それ以上に人との繋がりの大切さ等、多くのことを学びました。

息子も今年で28歳、お兄さんからおじさんに変貌しつつある姿を見ると月日の流れの早さを感じます。私もいろいろくたびれてきましたが(笑)

長年事務所におりますと、様々な声を耳にします。昔に比べれば情報を得やすい世の中になりました。しかしその反面、選択肢が増えたことにより新たな悩みも生じたり、時には孤独を生んでしまうこともあります。時代時代で大変さは変わっていきますし、悩みも人それぞれ、消えてしまう事はありません。育成会ができることは、これまでと同様に、また更に一步踏み出し、会員さんや障害を持つご本人に寄り添うことだと思っています。そのための育成会の活動を支えていきたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。



新しい体制でスタートします！

内部理事



祐谷・谷渕・高野・酒井・松本・森口・泉
山口朱・山口ひ・梅谷・宮脇

谷渕 美香

今年度「輪・和・WA」の担当をさせていただくことになりました谷渕です。理事の仕事ははじめてで、わからないことばかりですが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

森口 良子

新理事の森口です。余暇支援事業部を担当させていただきます。初めての事なので、至らない事もあるとは思いますが、周りの方々に助けをいただきながら仕事を進めていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

松本 眞理

今年度、研修事業部とはばたくアート展を担当させていただくことになりました。経験がないので不安ですが、部員みなさんのお力をお借りして、より良い研修会をお届けできるように努めます。

どうぞよろしくお願いいたします。

祐谷 三恵

今年度、広報を担当させていただく祐谷と申します。機関誌発行では周りの方々のご指導をいただきながら、部員一同力を合わせて情報を発信していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局



高瀬・伊藤
杉田・高士

高瀬 直子

この度ご縁があり 5年ぶりに事務局に参加させて頂くことになりました。ゼロからのスタートです。皆様に教わりながら会の運営に少しでも力になりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

外部理事・監事



外部理事 森 知子



外部理事 松枝 千尋



監事 音川 礼子



外部理事 柴田 圭一

外部理事に就任させていただきました柴田圭一です。

20代の頃より知的障がいのある人の支援に携わってききましたが、30余年を経てついに育成会の理事となり身の引き締まる思いです。

よろしくお願いいたします。



監事 名田 智子

西宮市歯科医師会から参りました名田智子でございます。以前は市役所にも在籍しておりました。

監事は初めてですが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

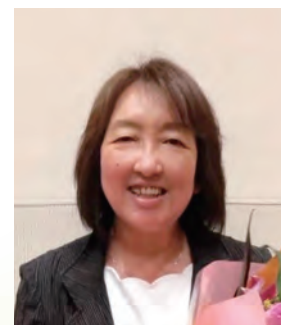
退任される方々



外部理事 市原 博



お疲れ様でした



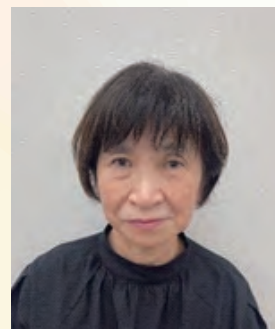
監事 近藤 真由美



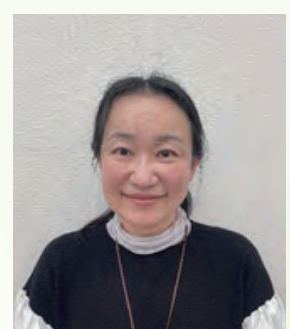
理事 本田 洋子



理事 中川 啓子



理事 西澤 和代



理事 加治 宏美

※本田洋子前会長が相談役に就任されました。引き続きよろしくお願いいたします。

厚生労働大臣表彰受賞式

2024年2月13日は、忘れられない一日になりました。東京会館での厚生労働大臣表彰受賞式、皇居での天皇皇后両陛下下拝謁という一生一度の光栄な機会をいただきました。この度の表彰は、私自身の功績などではなく、ただただ県市育成会で長く活動させてもらったことへのご褒美であり、活動を支え、力をお貸しくださったたくさんの会員・ご関係の皆さまのおかげと心から感謝しています。そして「育成会」という組織の大きさを改めて感じているところです。



私たちの活動の原動力は、わが子の幸せな人生への「思い」や「願い」です。前を走り続けてくださった偉大な先輩方に感謝し、学び、思いを受け継ぐ。おこがましいですが「恩返し」ではなく「恩送り」。

時代の流れと共に、次世代に「送る」ことに難しさを感じないわけではありませんが、どんな世代も、思いを共にする仲間であることに違いなく…同じ思いのもと、私たちは集うのだと信じています。これまでも、これからも。



「表彰状」を「卒業証書」に読み替えて…これまで関わってくださった皆様に、心からの感謝とお礼を申し上げます。

(近藤 眞由美)

ジョブステを知っていますか？

ジョブステーション西宮は、西宮市自立支援協議会しごと部会の提言を受けて始まった西宮市福祉的就労支援事業を受託するため、2011年5月に設立、9月から共同受注窓口として活動しており、2024年で14年目になります。

障害のある人が働く就労支援事業所（作業所）は、商品の製造と販売、草刈りや内職などの受注作業などに取り組んでいます。現場の職員さんは支援に忙しく、営業や販売までなかなか手が回らず、結果として障害のある利用者さんの工賃アップに結びつかなかったため、商品の販路開拓や受注作業の営業や割り振りなどを専門的に担当することで、市内の就労支援事業所の工賃アップを実現するのがジョブステーション西宮のミッションです。

2023年度は、市役所や企業、地域団体など、およそ100組織と取引または紹介を行い、販売イベントは年間70回開催、あわせて約3700万円が市内就労支援事業所の売上となりました。市内作業所のお菓子セットなど記念品の受注窓口もしています。

(ジョブステーション西宮 事務局長 柴田 圭一)



第2回「カラダとココロでダンスダンス」

2024年1月28日(日)勤労青少年ホーム(ぶらっとアイ)5F体育室にて、昨年に続き(公財)西宮市文化振興財団のご協力のもと、男女デュオ「セレノグラフィカ」さんを講師として、余暇活動第2回「カラダとココロでダンスダンス」を開催しました。

昨年は保護者等と一緒に参加し楽しい時間を過ごしましたが、今年は本人のみの参加としました。まわりで見守る余暇部員の心配をよそに、皆さんリラックスして楽しそうに参加されていました。1人1人が各々の表現をしたり、まねっこしたり、皆と一緒に体育室をいっぱいに動いたり、ゆったりとココロが解放されていくような様子に、まわりで見守る私達も嬉しくなりました。

「セレノグラフィカ」の隅地茉歩さんと阿比留修一さんに感謝です。

(余暇支援事業部 中川 啓子)



この事業の一部は、**歳末たすけあい募金**の配分金を活用させていただきました。

輪・和・WA活動中 ~第3回サロン活動に参加しました~

余暇支援部主催のサロン会は、育成会の会員同士が親睦を深める楽しいイベントです。

この度、2024年3月7日に実施の第3回サロン活動に、輪・和・WAのワークショップを初めてコラボさせていただきました。

当日の参加者は輪・和・WAメンバーを含めて33名。いつもは正面に向かって机が整然と並んだ研修会スタイルの会場で、やや緊張気味の受講生…という感じなのですが、サロン会ではパーティー会場の円卓をイメージして、机は5つのシマに組んで配置されていました。



これを見た【輪・和・WA王国へようこそ!】の寸劇担当メンバーの臨機応変力は素晴らしく、「ディナーショー風にテーブルを廻りながら出るしかない!」いざ開始すると、受講生さんたちは満面の笑みの拍手で温かく盛り上げてくださいました。こうして【伝わるかな?】【描いてみよう】【覗いてみよう】の3つのワークを体験していただき、サロン会前半部を終えました。後半部では、輪・和・WAメンバーもそれぞれのテーブルに分散して懇談タイムに加わりました。とても充実した時間でした。

(啓発事業部 加治 宏美)

第8回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 愛媛大会

2024年1月27日～28日

この度、初めて本人さんに同行し全国大会に参加しました。
まずは、待ち合わせのお約束から。「電車で行くとして分かりやすい待ち合わせ場所は？」と考えながらお電話すると「リムジンバスに甲子園から乗車します」とのこと。ご自身の確かな経路を考えておられました。当日は、西宮北口から乗車する私とバスで合流し愛媛へ向かいました。



会場について、まず驚いたのは本人さんたちのご様子。近畿大会などで既に顔見知り、普段からLINEなどでやり取りされているようで、和気あいあい、仲の良い友との再会を喜び合い会話も弾みます。どの分科会に参加するのか確認し合い、終わったら合流することを本人さん同士でお約束もされていました。懇親会の時間では、本人さん同士の名刺交換が盛んに行われ、西宮市から参加のお二人も、育成会で用意した名刺を渡して交流を深めておられました。そして、二次会へ。何かと制限が多かったこれまでとは違う、穏やかな時間を過ごしました。



二日目は「おやなきあと」「せいかつ」について、それぞれ学びを深め、今後の生活などに不安も抱きつつ真剣に考えていらっしゃる様子でした。

同行者として参加しましたが、お二人とも年上、かつ大会にも慣れておられ、私に付き添っていただいたかのような二日間でした。全国の本人さんたちの生き生きとした姿を間近に見る機会にもなり、改めて「育成会とは」を考える時間になりました。

(本人活動支援部 泉 明子)

第20回「のじぎくの会」総会

2024年5月26日総会が開催されました。 出席者：会員9名 来賓3名 支援者5名
会員の方々にとっては、5年ぶりに来賓の方をお呼びする待ちに待った総会でした。

2月の例会から準備を始め、一人一人が役割を持ち、全員で作りに上げてきました。

総会は、「のじぎくの会」の活動を報告できる場であり、自分たちのことを知ってもらう大切な場であると考えられています。

当日は、午前にはリハーサルをして午後が本番。リハーサルの時から緊張が伝わって来ました。

わからないときは支援者の方に聞いたり、お互いに注意しあい練習をされていました。

その甲斐あって、総会は無事に終了しました。

そして、6月の定例会で総会を振り返りました。

「5年ぶりに1日中でできてよかった。」「初めてなので緊張したけれど、うまく発表ができてよかった。」という喜びの声と同時に「もう少しゆっくりしゃべりたいと思った。」「来年はもっといろんな人に来てもらいたいので、早くに連絡をする。」という反省点もあげられていました。

(本人活動支援部 西澤 和代)

